



平成25年10月10日

国立大学法人豊橋技術科学大学次期学長候補者の決定について

本日、学長選考会議において、榊現学長の任期満了（平成26年3月31日）に伴う、次期学長候補者の選考を行い、次の方を次期学長候補者として決定しましたので、お知らせします。（略歴、写真、投票結果添付）

氏名： 大 西 隆（おおにし たかし）

現職： 日本学術会議会長

任期： 平成26年4月1日～平成30年3月31日

なお、次期学長候補者の記者会見について、次のとおり行います。

明日（10月11日）、09:30～ 事務局3F大会議室

本件に関する連絡先

広報担当：総務課長 山内，総務係 深井，朝倉 TEL 0532-44-6501

次期学長候補者の略歴書		
ふりがな 氏 名	おおにし たかし 大 西 隆	男
生年月日 年 齢	昭和23年 7月16日生 満65歳	
最終学歴	昭和55年 7月 東京大学大学院工学系研究科博士課程都市工学専攻修了	
学 位	昭和55年 7月 工学博士（東京大学）	
現 職 名	日本学術会議会長，慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授，東京大学名誉教授	
主要経歴	昭和50年 8月 日本開発銀行設備投資研究所嘱託研究員 (S56.3まで) 昭和56年 4月 長岡技術科学大学工学部助手 昭和57年 2月 長岡技術科学大学工学部助教授 (S63.3まで) 昭和59年 1月 アジア工科大学ヒューマンセツルメント学科(AITバンコク)助教授 (S61.3まで) 昭和62年 5月 マサチューセツ工科大学都市建築研究所客員研究員 (S62.10まで) 昭和63年 4月 東京大学工学部助教授 平成 7年 4月 東京大学大学院工学系研究科教授 平成 8年 1月 国際連合大学高等研究所教授 (兼任，H22まで) 平成10年 4月 東京大学先端科学技術研究センター教授 (H20.4以降は兼任で，H25.3まで) 平成16年 4月 政策研究大学院大学客員教授・その後非常勤講師 (～現在) 平成18年 4月 東洋大学大学院経済学研究科非常勤講師 (兼任，H21.3まで) 平成19年10月 東京大学大学院工学系研究科都市持続再生学コース（まちづくり大学院） コース長 (H25.3まで) 平成20年 4月 東京大学大学院工学系研究科教授 (H25.3まで) 平成23年10月 日本学術会議会長 (～現在) 平成23年10月 内閣府総合科学技術会議議員 (～現在) 平成25年 4月 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授 (～現在) 平成25年 6月 東京大学名誉教授	
管理運営 に関する 実績	○平成16年4月～平成19年3月 東京大学先端科学技術研究センター所長代理として，センター長を補佐し，センターの管理運営にあたった。 ○平成8年4月～平成9年3月，平成22年4月～平成23年10月 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻長（兼学科長）として学科，専攻の管理運営にあたった。 ○平成19年10月～平成25年3月まで東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻都市持続再生学コース（まちづくり大学院 社会人修士課程）コース長として，18名（1学年）の修士課程学生，数名の専属教員・スタッフ，併設された寄付講座（年間3,000万円規模）の管理運営にあたった。 ○平成11年6月～平成15年6月 日本テレワーク学会を創設，初代表幹事として，スタッフ若干名，会員約300名の学会の管理運営にあたった。 ○平成12年から，財団法人日本地域開発センター理事長として財団の管理を統括。 ○平成18年5月～平成20年5月 日本都市計画学会会長として，スタッフ数名，会員約6,000名の学会の管理運営にあたった。 ○平成23年4月～平成26年3月 日本計画行政学会会長として，スタッフ若干名，会員約1,200名の学会の管理運営にあたっている。 ○平成23年10月～平成26年9月 日本学術会議会長として，職員50数名，会員210名，連携委員約1,900名の組織の管理運営にあたっている。	

教育研究 に関する 実績	研究実績：大都市圏の計画制度，大都市圏の計画課題分析，大都市圏の実証分析など大都市圏の計画に関する種々の観点からの研究を行ってきた。特に大都市圏の成長管理，安定成長下での大都市圏計画制度のあり方と計画課題について焦点を当てている。この分野での研究のひとつに対して，平成7年に日本計画行政学会論文賞が与えられた。また大都市圏と地方圏のバランスある発展という領域では，国土交通省国土審議会，経済産業省産業構造審議会，工業用地審議会等，国の計画立案審議に参画してきた。 上記の都市構造，国土構造に関する研究と密接に関連を有する領域として，情報発展が都市におけるオフィス立地や居住地選択に与える影響及びそれがもたらす職場－居住地関係の変化を実証的に研究している。最近では特に情報通信の活用が勤労の生産性向上にどのように寄与しているかを実証的に研究している。併せて国土審議会会長代理，産業構造審議会部会長等を務め政策形成に関わってきた。 アジアの発展途上都市の都市問題を実証的な方法により研究し，そこでの計画課題や計画制度のあり方について研究している。最近では，インドネシアをフィールドとして，大都市郊外部の都市化過程の制御と整備手法のあり方について国際協力機構とともに調査研究を行い，インドネシア国政府へのアドバイザーを務めている。海外都市との研究交流に対して台湾都市計画学会国際交流賞，IFUP 終身会員賞が与えられた。 テレワークによる都市の変容，家計や輸送部門におけるエネルギー消費の削減がどのような都市システムのもとで行われるかに関心を持ち，モデル的かつ実証的な研究を行っている。輸送部門のあり方については，昭和56年に交通図書賞が与えられた。環境省の関連委員会において，輸送家計部門における低炭素都市，炭酸ガス排出抑制に関する政策立案のアドバイザーを務めている。 これらの功績に対して，交通図書賞，テレコム社会科学賞，テレワーク推進賞個人賞，日本計画行政学会計画賞，MIPIM 最優秀賞が与えられた。 教育実績：昭和57年度から，長岡技術科学大学，続いて東京大学において学部，博士前期，博士後期課程の学生の指導に従事し，多数の博士課程修了者，修士・学部卒業者を送り出してきた。政策研究大学院大学，東洋大学で，客員教授，非常勤講師として都市計画・地域計画論の講義を担当。慶應義塾大学政策・メディア研究科で講義を担当。
社会貢献 に関する 実績	各種委員：日本学術会議会長(現)，東日本大震災復興構想会議委員，内閣官房地域活性化戦略チーム委員(現)，経済産業省産業構造審議会委員(現)，経済産業省産業構造審議会地域経済産業分科会会長(現)，国土交通省国土審議会委員・会長代理，国土交通省国土審議会豪雪地帯対策分科会会長，国土交通省国土審議会北海道開発分科会委員，横須賀市都市計画審議会委員長，西東京市都市計画審議会会長(現)，板橋区資源環境審議会会長(現)，川崎臨海部再生リエゾン推進協議会会長(現)，(財)日本地域開発センター理事長(現)，(財)東京市政調査会評議員，(財)国土計画協会理事(現)，(財)地域総合整備(ふるさと)財団理事(現)，(社)日本テレワーク協会シニアアドバイザー(現)，気仙沼市大使(現)，釜石市復興まちづくりアドバイザー(現)他 学会活動：日本計画行政学会（現会長），IFHP(国際住宅都市計画連合)（元理事・評議員・現終身会員），日本テレワーク学会（元代表幹事，顧問），日本都市計画学会（元会長）



大西 隆

国立大学法人豊橋技術科学大学
学長候補者選出に係る意向調査

投票・開票記録(総表)

平成25年10月10日(木)

区 分		第 1 回 目	第 2 回 目
投 票 時 間		9時30分 ～ 13時00分	時 分 ～ 時 分
意 向 調 査 対 象 者		273 名	名
意向調査成立投票者数		178 名	名
投 票 者 数		249 名	名
投票 内 訳	投 票 総 数	249 票	票
	有効投票数	247 票	票
	無効投票数	2 票	票
得票者氏名及び 得 票 数		大西 隆 142 票 寺嶋一彦 67 票 石田 誠 38 票	票 票
投 票 率		93.6 %	%